

今回のポイント

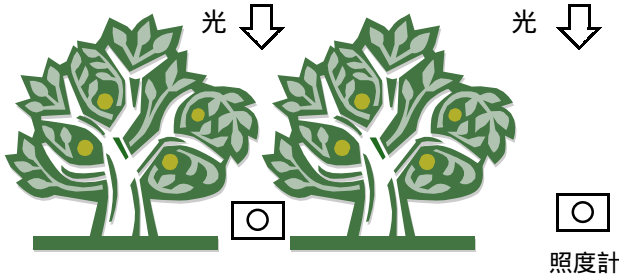
相対照度とは・・・

照度：ある場所に当たる光の強さを表す量のことです。単位はlux(ルクス)

相対照度は

樹木で覆われていない場所に比べて林の中がどのくらいの光の強さになっているかということ。

つまり、樹木のとっぺんに当たっている光が木に遮られていくうちにどのくらいまで下の方に届くかという割合のことです。(％で表します)



参加者の声

今日は、あつかった。でも森の中はすずしかった。

元気な木は、葉がいっぱいあって大きな木でした。

今日わかったことは、中山の森では、まいごになっても40mは聞こえること!

今日はとても楽しかった。とくに、自分が木になったつもりで書いたのは、とても楽しかった。声の大きさや木のことがよくわかった。

森でまいごになったら木のない方向にさけぶことがわかりとっても楽しかったです。大声でリーダーのことをさげびました。

今日は、毛虫の一日(?)でしたあ。

平地は40~70mまで声が聞こえ、森は40~50mまで聞こえた。森の方がよく聞こえないのがわかった。

発行元：(財)2005年日本国際博覧会協会 市民参加促進グループ 編集責任者：小林 寛司
〒450-0002 名古屋市名村区名駅3-15-1 名古屋ダイヤビルディング2号館4階
TEL 052-569-2101 FAX:052-569-2100



今回のエコスクールでは

みんなに中山の森の中で「気持ちのいいところ」と「あまりよくないところ」を選んでもらい照度を測ってみました。

班	気持ちのいいところ	あまりよくないところ
わし	5.0%	3.6%
しまりす	-	3.4%
もみじ	19.1%	3.7%
すずめばち	4.3%	3.6%

すると「あまりよくないところ」は「気持ちのいいところ」に比べて、全体的に暗いことがわかりました。

こうした暗い森というのは木がいっぱい生えていることが多いようです。

また、森の中の特に小さな植物にとっても、暗い森は光合成がしにくいので力が沸きません。

人間も生物もみんなが大好きな森になるにはどうしたらいいのかこれからも考えていきましょう。

同じ種類の木でもみんなちがう特徴ちょうをもっていて、なかなかおもしろかった。

わしの森で見つけたソヨゴの木、これからどう成長していくのだろう?

きょうは、木のしゅるいやながさ、ちょっけいなど、いろいろなことをしらべてたのしかった。

今日は木について調べれて楽しかった。元気な木、元気のない木いろいろあってとても勉強になった。

今日学んだことは木のことでした。ほくたちは木のことを考えたりしたけれどあまり知らなかったのにとってもおどろいた。

